

## 第 1 章

### 調査研究概要



## 1 - 1 調査研究概要

### (1) 農業(酪農業)の選定にあたって

平成 21 年度に取り組む本調査研究の業種選定においては、平成 20 年度に労・公・使の有識者を委員とする生涯職業能力開発体系調査研究会において対象業種の検討を行い、その結果、日本標準産業分類の中分類の業種にこだわらず、小分類レベルでの業種も対象とし、日本版デュアルシステム、実践型人材養成システム等や人材育成研究会に取り組む企業など、企業内における能力開発の計画や実施が活発化している業界団体、および今後法人企業の増加に伴って就業人口が増加すると予想される業界団体を対象として、職業能力体系(モデルデータ)を整備することとした。

当該研究会の検討結果を受け実践型人材養成システム等に取り組む企業の状況や企業と求職者とのマッチングを支援する上で有効な「ジョブ・カード制度」の取組状況情報収集の結果、これまで生涯職業能力開発体系の拡充において、第1次産業について取り組んで無かったことから、全国農業会議所・(社)日本農業法人協会と協議を行った。同協会では、農業における雇用労働力の活用を円滑にするため、新たに就業希望者(研修生)を雇用するための対策など積極的に取り組んでいることが分かった。

さらに、農業(酪農業)では、乳牛の管理や飼養の管理、育種改良、繁殖管理等の生産部門や、搾乳機械等の機械のメンテナンスおよび衛生管理、糞尿処理などに対する多様かつ専門的スキル、さらには機械操作や IT 技術を導入した管理システムの運用・管理など業務も複雑化しているため職業能力体系(モデルデータ)を整備することによって、効果的な人材育成システムが構築できるのではないかとの提案をいただき、農業(酪農業)を選定したものである。

### (2) 酪農業とは

酪農業とは、日本標準産業分類において、大分類 A 農業・林業、中分類 A01 農業、小分類 A012 畜産農業、細分類 A0121 酪農業に分類され、主として生乳を生産し、出荷する事業所をいう。(図表 1-1 参照)

図表 1-1 日本標準産業分類上の農業の位置づけ

【大分類:A(農業・林業) 中分類:01(農業)】

小分類	産業分類	細分類	業種
010	管理,補助的経済活動を行う事業所	0100	主として管理事務を行う本社等
		0109	その他の管理,補助的経済活動を行う事業所
011	耕種農業	0111・0112	米作・米作以外穀作農業
		0113	野菜作農業
		0114	果樹作農業
		0115	花き作農業
		0116	工芸農作物農業
		0117	ばれいしょ・かんしょ作農業
		0121	酪農業
012	畜産農業	0122	肉用牛生産業
		0123	養豚業
		0124	養鶏業
		0125	畜産類似業
		0126	養蚕農業
		013	農業サービス業
0132	野菜作・果樹作サービス業		
0133	耕作、野菜作・果樹作以外の耕種サービス業		
0134	畜産サービス業		

出典：総務省 統計局 日本標準産業分類(2008年第12回改定)